

平成21年 6月 15日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006 - 2008 年度
 課題番号：18530025
 研究課題名（和文） 国際化と地域化の下での国家の役割変化とその市民生活への影響に関する国際比較研究
 研究課題名（英文） L'étude comparative relative aux actualités de l'activité citoyenne dans la mondialisation et le régionalisme
 研究代表者 長谷川 憲

工学院大学 工学部 教授
 研究者番号：20189525

研究成果の概要：

現代社会において、国際化と地域化が、経済のみならず政治の領域においても進展する中で、近代市民革命以来確立されてきた近代立憲主義、民主主義、基本的人権、国家および地方制度などの理念および制度が変貌を迫られている。これらの日欧における変化について、国際共同研究および国際シンポジウムの場を組織・研究を行い、成果を公表することができた。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	1,400,000	0	1,400,000
2007 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2008 年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	600,000	4,000,000

研究分野：憲法学

科研費の分科・細目：公法学

キーワード：憲法 立憲主義 民主主義 地方自治 国家論 議会制度 国際化 地域化

1. 研究開始当初の背景

本研究を開始するにあたっては、従来、個別に存在した日欧研究および日本研究を、日仏若手研究者を中心に恒常的な相互交流の場として再組織すべく、継続的研究テーマの設定、共同研究・相互討論の場の確立の必要があった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、国際化・地域化の伸展が近代国家とその存立の原理に与える影響を研究し、個人を超える権力に関する新たな理論と原理を検討するとともに、日仏共同の恒常的研究・交流組織を確立することである。

3. 研究の方法

日仏の研究者が、対等・平等な条件で、自己の研究領域に関する知見を深めるとともに、共同研究・相互討論を行うことにより、研究課題を探究する。

当面は、共通言語は、フランス語を使用し、研究成果は、フランス語によるものを正本とし、日本語での成果発表も行う。

4. 研究成果

日仏研究者が個別研究および共同研究を行った結果、二度にわたる国際シンポジウムを開催するとともに、日仏両語による出版物2点他を刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

HASEGAWA KEN, Les Problemes des Dernieres Reformes des Collectivites Locales au Japon, Kogakuin University Bulletin, 44-1, 17-28, 2006, 無

HASEGAWA KEN, L'Etat actuel et les Problemes du Referendum local au Japon, Kogakuin University Bulletin, 44-2, 1-10, 2007, 無

HASEGAWA KEN, L'Etat et la Société en France (1), Kogakuin University Bulletin, 45-1, 1-8, 2007, 無

HASEGAWA KEN, L'Etat et la Société en France (2), Kogakuin University Bulletin, 45-2, 17-25, 2008, 無

HASEGAWA KEN, Les Dernieres Problems de la Democratie au Japon, Kogakuin University Bulletin, 46-1, 1-9, 2008, 無

稲葉実香・齊藤笑美子・長谷川憲, ヴェロニック・シャンペイユ=デスプラ フランスにおける女性の人権の進展について,立命館法学,320,187-221,2008,無
長谷川憲,1848年におけるフランスの国民議会議員(1),工学院大学研究論叢,46-2,99-103,2009,無

[学会発表] (計1件)

HASEGAWA KEN, Les problemes des dernieres reformes des collectivites locales au Japon, VIIeme Franco-Japonais de Droit Public, 20-22 septembre 2006, Universite Montpellier 1.

[図書] (計2件)

長谷川憲他『公共空間における裁判権』(有信堂2007),1-314.

HASEGAWA KEN et al. 『Les Mutations Contemporaines de la Democratie 』(Monediteur.com,2007),1-250.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

6. 研究組織

(1)研究代表者

長谷川 憲(HASEGAWA KEN)

工学院大学・工学部・教授

研究者番号:20189525

(2)研究分担者

山元 一(YAMAMOTO HAJIME)

慶応大学・法科大学院・教授

研究者番号:10222382

只野 雅人(TADANO MASAHIITO)

一橋大学・法学研究科・教授

研究者番号:90258278

小澤 隆一(OZAWA RYUICHI)

慈恵会医科大学・医学部・教授

研究者番号:60224226

(3)連携研究者

大津 浩(OTSU HIROSHI)

成城大学・法学部・教授

研究者番号:10194200

村田 尚紀(MURATA HISANORI)

関西大学・法務研究科・教授

研究者番号:00210047

小泉 洋一(KOIZUMI YOICHI)

甲南大学・法学部・教授

研究者番号:80195643

建石 真公子(TATEISHI HIROKO)

法政大学・法学部・教授

研究者番号:

大藤紀子(OFUJI NORIKO)

獨協大学・法学部・助教授

研究者番号:

ドミニク・ルソー

モンプリエ第1大学・教授

ティエリイ・ルヌー

エックス・マルセイユ第3大学教授

エリック・セズレ

リヨン大学東アジア研究所所長

オリヴィエ・ジュアンジャン

ストラスブール第3大学・教授

アレクサンドル・ヴィアラ

モンプリエ第1大学・教授

クリストフ・シャブロウ

リヨン第2大学・助教授

リュック・ホイシュリング

リール第3大学・教授